

## 島のひろば

第693

「島のひろば」編集委員会電話 04992-2-8256

くらしの相談は共産党町議団へ

小池2-9318 山田2-3670  
酒井090-4545-0032

## 比例 大島得票数と当選者数

| 順位 | 党派名 | 大島得票数   | 比例当選者数 |
|----|-----|---------|--------|
| 1  | 自民  | 897,243 | 12     |
| 2  | 公明  | 380     | 4      |
| 3  | 共産  | 335,048 | 2      |
| 4  | 立民  | 318,401 | 7      |
| 5  | 国民  | 259,598 | 7      |
| 6  | 参政  | 248     | 7      |
| 7  | れいわ | 206     | 3      |
| 8  | 維新  | 96      | 4      |
| 8  | 保守  | 96      | 2      |
| 10 | 社民  | 70      | 1      |

吉良さん当選！  
大島では堂々の2位

白川よう子氏



小池晃氏



吉良よし子氏

当選した3氏

## 選挙区結果 順位は大島での順位

| 順位 | 党派名 | 候補者名   | 大島得票数   | 全都得票数   | 当落 |
|----|-----|--------|---------|---------|----|
| 1  | 自民  | 鈴木大地   | 570     | 772,272 | 当  |
| 2  | 共産  | 吉良よし子  | 403     | 562,443 | 当  |
| 3  | 公明  | 川村ゆうだい | 371     | 606,181 | 当  |
| 4  | 自民  | たけみ敬三  | 276     | 355,368 | 落  |
| 5  | 参政  | さや     | 232     | 668,568 | 当  |
| 6  | 立民  | 塩村あやか  | 179     | 517,885 | 当  |
| 7  | 国民  | 牛田まゆ   | 176     | 634,304 | 当  |
| 8  | 国民  | 奥村よしひろ | 149,286 | 585,948 | 当  |
| 9  | 無所属 | 平野雨龍   | 138     | 235,411 | 落  |
| 10 | れいわ | 山本ジョージ | 128     | 243,092 | 落  |

※全都7位の塩村あやか氏は任期3年

今回の参議院選挙では、共産党は比例で小池氏・白川氏、東京選挙区で吉良氏が当選しましたが、目標の当選者数には達せず、悔しく残念な思いをしましたが、それでも大島では吉良氏が2位に入ることで大いに喜び、励まされました。

## 参議院選挙の結果をうけて

私達は「自民党・公明党を少数に追い込み、自民党政治を終わらせる展望を切り開く選挙」とすることを目標に取り組んで来ました。市民と野党の共闘の新たな発展を目指して、全国17の1人区で候補者を一本化し、うち12の選挙区で勝利しました。また「オール沖縄」の議席を守り抜きました。こうした中で、東京選挙区では吉良よし子氏が、比例では小池晃・白川よう子氏が当選し、とりわけ大島においては島民の声を聞き、実現に向けて国会で質問してきた吉良さんが2位に入ることができ、支持された皆さんや奮闘された関係者の方々に心からお礼申し上げます。私達大島の共産党は「暮らしを支える島づくり」を目指してこれからも頑張っていきます。

日本共産党大島町委員会

## 大島 地区別投票状況

| 地区名  | 当日有権者数 | 当日投票数 | 不在者投票数 | 期日前投票数 | 確定投票数 | 投票率    |
|------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 元町   | 1,822  | 452   | 15     | 623    | 1,090 | 58.82% |
| 北の山  | 1,031  | 261   | 66     | 291    | 618   | 59.94% |
| 岡田   | 596    | 212   | 6      | 172    | 390   | 65.44% |
| 泉津   | 252    | 95    | 2      | 59     | 156   | 61.90% |
| 野増   | 239    | 86    | 3      | 56     | 145   | 60.67% |
| 間伏   | 116    | 40    | 0      | 34     | 74    | 63.79% |
| 差木地  | 751    | 180   | 3      | 230    | 413   | 54.99% |
| クダッチ | 502    | 155   | 2      | 131    | 288   | 57.37% |
| 波浮港  | 319    | 92    | 0      | 93     | 185   | 57.99% |
| 在外   | 6      | 1     | 0      | 0      | 1     | 16.67% |
| 合計   | 5,634  | 1,574 | 97     | 1,689  | 3,360 | 59.64% |

## 6月議会一般質問

## 小池 渉 議員

## 島外への交通問題について

小池 島外への交通については、住民にとって不便な状況となっている。海上運送法の改正や人員不足、働き方改革等により一過性にとどまるものとは考えにくい。何らかの方策が必要。

高速船の夏の時刻表では、大島発について、東京便では15:10発と15:30発、熱海便では10:50発となっている。都内近郊の医療機関への通院となれば、移動日の診療は不可能となり、宿泊が余儀なくされる。それ以外でも不便を生じることが予想できる。宿泊代の高騰や島しょ会館の予約の取りづらい状況、船の予約すら取

れないことが懸念される。これまでに国交省や東京都から離島航路整備法や地域公共交通確保維持改善事業等についてのレクチャー等を受けたたり相談したりしたことはあるか。また、夏季期間の高速船の運行スケジュールについて旅客船事業者からの説明等はあったか。加えて、今後の大島における航路のあり方についての考えは。島外交通の現状と今後を踏まえ、島外医療機関通院交通費等対策支援事業の拡充を求める。

答 町長

東京都から法改正等の説明はあった。また、事業者からは法改正に伴い、国が



ら人員不足等の指摘があり、対応として今後のダイヤ変更や船員の臨時採用・教育などを行わなければならない旨の説明を受けた。離島航路の充実・強化に関しては、国や関係機関に対して、要望活動、東京都町村会及び東京都町村議会議長として、東京都予算編成に対する要望を提出している。

今後も、要望活動

や関係機関等協議を重ね、安心・安全対策を徹底したうえで、島民の利便性の向上に向けた航路確保に努める。ダイヤ変更の影響により島外医療機関への受診の際の宿泊に関しての支障について懸念している。宿泊補助については、受診日の前泊も補助対象となっていることもご理解願いたい。

## 酒井 周 議員

### 樹林化した農地や荒廃した山林のバイオマス燃料としての活用について

酒井 地球温暖化が危惧される中、世界では再生可能エネルギーの利用が広がっており、バイオマス燃料は最も多く使われている。「大島町地球温暖化対策実行計画」の中でもカーボンニュートラルが謳われている。

大島町では樹林化した農地や放置された山林に多くの木材資源があり、バイオマス燃料の利用拡大の可能性を秘めている。島外から移住してきた方がツバキの炭焼きを行う事業を計画、スタートし、この事業者以外でも炭焼き

窯を立ち上げる動きがある。これとは別にホテル建設において、木質バイオマス燃料を使いたいとの打診があると伺っており、森林資源を活用する動きが広がり、荒廃した山林や植林地が適正管理される可能性が出てきた。炭焼きやホテルでのバイオマス燃料の利用を荒廃した樹林の解消の好機ととらえ、産業課や農業委員会が仲介し、事業者と協議、協力しながら地権者間で適正に交渉を行うための制度作りが必要と考える。産業課長に伺う。

め、政策ビジョンがあるか。産業課長 椿炭事業者からは森林資源の分布や所有者について問い合わせがあったが、森林化しているか否かのデータはなく、所有者等は安易な紹介はできない。ホテル事業者からは「木材チップの必要な量を毎年確保できるか」というもの。木材チップの年間必要量を約1,000tと見積もっており、これを賄うことはできないであろうと回答。町長 国も令和6年度補正予算で、省エネ・非化石転換補助金の公募も開始したが、大島の地形で、チップ化や樹木の切り出し、働き手等多くの課題もある。町としてバイオマス燃料事業を推進する政策はもっていないが、民間事業者や他自治体の状況を注視しながら検討したい。

## 大島文学・紀行散策

### 拾遺編

#### 耕平逍遙

#### —— 童話・書簡・日記を読む ——

二二

#### 【三人の少女】

山田ヨシほどではないが耕平が何かと世話になったもうひとりの少女が下村ヨネである。(耕平はヨネを「お兼」と表現している) ヨネは、耕

多の人のことを考えて見る。歴史も学問も芸術もなかった土地に何の苦痛難難があったと想像されよう。私の眼に浮かぶ過去は赤い椿と尽きせぬ歓楽を語る島唄ばかりである。こう考えた時私の心は少

平が来島当座間借りした下村定吉家の長女で十七歳であった。当時ヨネは、東京の竹早師範学校(現在の東京学芸大学の前身)に在学中で、夏休みの時などに耕平の世話をしたが、ヨネは、一九一七年(大正6)九月二十一日に肺結核で亡くなっている。「島日記」の五に元村の墓地を訪れたときの印象を記した一節がある。少し長くなるが紹介しよう。《島人は常に七十年八十年の年齢を保つ。今この墓処に安らかに眠っている幾

(以下次号)